



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年12月13日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀地速男
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 関根健二 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月27日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の業績（平成25年5月16日～平成25年11月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	8,795	3.0	418	10.2	436	10.4	240	7.2
25年5月期第2四半期	8,538	△0.3	380	47.2	395	43.3	224	82.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	82.88	—
25年5月期第2四半期	77.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	7,846	4,985	63.5	1,717.10
25年5月期	7,832	4,823	61.6	1,661.23

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 4,985百万円 25年5月期 4,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年5月期の業績予想（平成25年5月16日～平成26年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,074	6.1	863	△8.7	899	△7.4	463	△16.0	159.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期2Q	2,903,600株	25年5月期	2,903,600株
26年5月期2Q	298株	25年5月期	298株
26年5月期2Q	2,903,302株	25年5月期2Q	2,903,327株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府・日銀による金融緩和をはじめとする経済政策への期待感から、円安や株価の上昇などを背景に、企業収益の改善や個人消費に明るさが戻るなど景気回復の兆しが見受けられた一方、来春の消費税増税による消費減退への懸念等、消費全般の基調は引き続き楽観視できない状況で推移しました。

外食業界におきましても、消費者マインドの回復は一部にみられるものの、円安による原材料高のリスクを抱えつつ、未だ家計の所得環境の好転にまでは直結していないことから、景気の先行きには不透明感が残り、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間において、千葉ニュータウン店(平成25年10月)を新規に出店し、鶴川店(平成25年10月)を退店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は81店舗となっております。

販売促進につきましては、銚子丸らしい商品の拡充と時節の食材によるイベントの継続的開催を実施し、お客様の来店動機高揚に努めるとともに、割引券やチラシといった販促ツールの効果測定を改めて行い、効率的な販売促進費削減を実施致しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は87億95百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は4億18百万円(同10.2%増)、経常利益4億36百万円(同10.4%増)、四半期純利益は2億40百万円(同7.2%増)となり、増収増益となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ14百万円増加し、78億46百万円(前事業年度末比0.2%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ42百万円増加し、48億58百万円(同0.9%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加2億16百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億16百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ28百万円減少し、29億88百万円(同0.9%減)となりました。これは主に、減価償却及び閉店による店舗設備の減少によるものです。

(負債・純資産)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億47百万円減少し、28億61百万円(前事業年度末比4.9%減)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億20百万円減少し、22億29百万円(同5.1%減)となりました。主な内訳は、未払金の減少68百万円及び未払法人税等の減少51百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ27百万円減少し、6億32百万円(同4.2%減)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1億62百万円増加し、49億85百万円(同3.4%増)となりました。主な内訳は、当第2四半期累計期間の四半期純利益2億40百万円及び第36期期末配当金の支払78百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して2億16百万円増加し、40億63百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4億48百万円(前年同期は78百万円の使用)となりました。これは、税引前四半期純利益4億35百万円、減価償却費1億30百万円及びたな卸資産の減少額1億16百万円による資金の獲得、法人税等の支払額2億45百万円による資金の使用によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億42百万円(前年同期は1億12百万円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出84百万円、建設協力金の支払による支出46百万円による資金の使用によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は90百万円（前年同期は53百万円の獲得）となりました。これは短期借入金の純増加20百万円による資金の獲得ならびにリース債務の返済による支出32百万円及び配当金の支払額77百万円による資金の使用によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高190億74百万円、営業利益8億63百万円、経常利益8億99百万円、当期純利益4億63百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き「すし銚子丸」業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第37期（平成25年5月16日から平成26年5月15日まで）の新規出店数は、8店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成25年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,254,019	4,470,249
売掛金	25,789	22,786
原材料及び貯蔵品	208,166	92,006
預け金	90,930	87,783
その他	237,029	186,108
流動資産合計	4,815,935	4,858,934
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,092,646	1,061,438
その他(純額)	501,246	489,990
有形固定資産合計	1,593,893	1,551,429
無形固定資産	53,060	48,977
投資その他の資産		
敷金及び保証金	807,288	800,551
建設協力金	282,202	280,576
その他	281,263	307,560
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,369,676	1,387,609
固定資産合計	3,016,630	2,988,015
資産合計	7,832,566	7,846,949
負債の部		
流動負債		
買掛金	791,595	797,808
短期借入金	130,000	150,000
未払金	783,350	714,908
未払法人税等	261,117	210,107
賞与引当金	110,880	156,352
株主優待引当金	28,680	28,452
その他	244,005	171,558
流動負債合計	2,349,629	2,229,187
固定負債		
資産除去債務	168,004	167,788
長期未払金	359,700	359,700
その他	132,189	105,002
固定負債合計	659,894	632,490
負債合計	3,009,523	2,861,678

(単 位 : 千 円)

	前事業年度 (平成25年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成25年11月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	4,270,969	4,433,205
自己株式	△696	△696
株主資本合計	4,823,052	4,985,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10	△16
評価・換算差額等合計	△10	△16
純資産合計	4,823,042	4,985,271
負債純資産合計	7,832,566	7,846,949

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日）	当第2四半期累計期間 （自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日）
売上高	8,538,459	8,795,819
売上原価	3,476,190	3,674,189
売上総利益	5,062,268	5,121,630
販売費及び一般管理費	4,682,228	4,702,940
営業利益	380,039	418,690
営業外収益		
受取利息	2,582	2,304
協賛金収入	11,395	13,570
その他	5,184	5,395
営業外収益合計	19,161	21,269
営業外費用		
支払利息	2,025	2,596
現金過不足	1,224	955
その他	551	—
営業外費用合計	3,801	3,551
経常利益	395,399	436,408
特別損失		
固定資産除却損	1,286	888
特別損失合計	1,286	888
税引前四半期純利益	394,113	435,520
法人税等	169,744	194,895
四半期純利益	224,368	240,625

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年5月16日 至 平成25年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	394,113	435,520
減価償却費	132,378	130,652
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	23,144	23,201
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,600	45,472
受取利息及び受取配当金	△2,591	△2,313
支払利息	2,025	2,596
固定資産除却損	1,286	888
売上債権の増減額 (△は増加)	△81	3,003
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△190,428	116,159
仕入債務の増減額 (△は減少)	20,785	6,212
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,568	△3,536
その他	△172,357	△62,360
小計	207,307	695,496
利息及び配当金の受取額	578	549
利息の支払額	△2,027	△2,594
法人税等の支払額	△284,678	△245,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,819	448,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△383,767	△383,855
定期預金の払戻による収入	383,651	383,767
有形固定資産の取得による支出	△58,440	△84,993
無形固定資産の取得による支出	△38,000	—
長期前払費用の取得による支出	—	△7,800
敷金及び保証金の差入による支出	△14,174	△8,184
敷金及び保証金の回収による収入	2,992	4,921
建設協力金の支払による支出	△5,000	△46,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,737	△142,144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	250,000
短期借入金の返済による支出	△440,000	△230,000
リース債務の返済による支出	△28,564	△32,396
配当金の支払額	△77,614	△77,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,820	△90,116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△137,736	216,141
現金及び現金同等物の期首残高	3,454,139	3,846,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,316,403	4,063,130

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。